

春だ  
花見だ  
お祭りだ

# 日野を楽しもう!!

日野町には国や県の文化財に登録されているものをはじめ、多くの素晴らしい観光スポットがあります。  
春の行楽シーズン、町内のいろんなところに足を運んでみませんか。

## 花暦

### 鎌掛谷

#### ホンシヤクナゲ群落

(4月下旬～5月上旬)

しゃくなげは高山植物で、普通は標高800～1,000メートルの高山に自生していますが、鎌掛谷ホンシヤクナゲ群落は低地に群生していることが大変珍しいことから、昭和6年に国の天然記念物に指定されました。



### 正法寺の藤

(5月上旬～中旬)

藤の寺の名前で親しまれる鎌掛の正法寺。重要文化財の石造宝塔や芭蕉の句碑等と一緒に、300年を超える歳月を経た見事な花房が楽しめます。



### 花の郷ダリア園

☎074885225651

地元鎌掛の有志の皆さんによりオープンしたダリア園。春から初夏の時期は色とりどりのボタンや芍薬、バラが

園内いっぱい咲き誇っています。いちご狩り(5月下旬まで)も大人気です。



### 滋賀農業公園ブルーメの丘

☎07488522611

今年開園20周年の日野町を代表する観光スポットの一つ。チューリップやバラ、中世ドイツをイメージした街並みを楽しみに県内外から多くの観光客が訪れます。



## お祭り

南山王祭(4月4日)

大窪にある日枝神社(通称南山王さん)の春祭。県選抜民俗文化財である美しいホイノポリ22本が奉納されます。その他、次の町内6つの神社でもホイノポリが奉納されます。

- 日枝神社 (4月10日 小井口地先)
- 井林神社 (4月12日 松尾地先)
- 比都佐神社 (4月14日 十禅師地先)
- 長寸神社 (4月17日 中之郷地先)
- 大屋神社 (4月17日 杉地先)
- 八千鈿神社 (5月1日 三十坪地先)



# 日野祭 (5月2日、3日)

馬見岡綿向神社の春の例祭。県の無形民俗文化財に登録されており、850年以上の歴史を持つ湖東地域最大のお祭りです。

2日は宵祭。夕暮れから提灯を灯した曳山が町へ繰り出し、山倉の前や札の辻(大窪地先)、日野まちかど感応館(日野観光協会)前などに集まってお囃子が共演され、多くの人でにぎわいます。恒例となったスタンプリーも行われます。

3日は本祭。「芝田楽」が午前8時半ごろに綿向神社へ宮入し、続いて神幣や神輿、曳山も次々に宮入して昼ごろまでには勢ぞろいします。芝田楽とは、3人の神子を警護する神調社からなる一団の呼称です。締め太鼓を轟かせ、100名ほどの芝田楽が大通りを行く姿は見応えがあります。



## 日野祭を楽しむ

### ● 神子・神調社の宮入 (7時~8時30分ごろ)

日野町特有の棧敷窓のまちなみとともに楽しめます。

### ● 渡御出発(11時30分ごろ)

綿向神社から神子を先頭に芝田楽や神輿などが行列となり、御旅所である雲雀野へ出発します。このとき、曳山からの祭囃子や神輿の男衆の威勢の良い掛け声等が響き、境内は熱気に包まれます。

### ● 今年は6年に1度

曳山16基すべてが出揃う

予定の年です

曳山の「見送り幕」や「彫刻」は重要美術品に匹敵するものも多くあり、一見の価値があります。

日野観光ボランティアガイドさんに聞きました。

## お勧めの観光ポイント

歴史が好きな方なら、近江日野商人館とまちかど感応館、近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」はぜひ見ていただきたいです。商人館には日本最古のワインセラーのように珍しいものが数多く貯蔵されています。

シオン椿などの花々もあり、素晴らしい景色です。

日野祭では、芝田楽のようにあれだけの人数が隊列をなして歩いていく姿は他ではなかなか見られないのではないのでしょうか。また、神輿や曳山などのにぎやかさもいいですが、夕暮れのなか曳山が各町へ帰っていく姿も情緒があります。近江日野の歴史や早朝から夕刻まで情緒あふれる日野祭、きれいな花をのんびりと見てほっこりしていただきたいです。

春に花を見るなら、しゃくなげ溪から正法寺の藤、ダリア園が4月下旬からは見ごろだと思います。しゃくなげ溪ではしゃくなげの花だけではなく、遊歩道の新緑や芽吹き、真っ赤なカーネー



日野観光ボランティアガイド協会 会長 遠城元之さん(安部居)

問い合わせ先 ◆ 日野観光協会 ☎074-8-526577